

## 平成 28 年度 学術・学会に関する委員会事業報告

### 1. 活動テーマ

日本公衆衛生看護学会学術集会への企画委員及び実行委員としての参画と全国保健師長会の企画提案

### 2. 目的

地域保健で働く保健師が調査研究やまとめを報告する場所を確保し、公衆衛生看護の専門職として自己研鑽や資質向上を図る。

### 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	5月29日(日)	仙台国際センター	【第5回日本公衆衛生看護学会学術集会 第3回企画委員会に出席】 ・スケジュール, 進捗状況の確認・共有等
2	6月11日(土)	東京八重洲ホール	【第1回委員会】 ・委員会の活動経過, H27年度活動状況及び引き継ぎ事項について ・H28年度活動計画について ・第5回日本公衆衛生看護学会学術集会の進行状況について
3	7月23日(土)	東京八重洲ホール	【第2回委員会】 ・第5回日本公衆衛生看護学会学術集会でのワークショップのテーマ, 内容等について検討
4	11月6日(日)	東北大学医学部	【第5回日本公衆衛生看護学会学術集会 第4回企画委員会に出席】 ・進捗状況の確認, 抄録集について等
5	11月21日(月)	仙台市泉区 保健福祉センター	【ワークショップ活動報告者との打合せ】 ・ねらい, 活動報告内容の確認等
6	12月10日(土)	日本公衆衛生協会	【第3回委員会】 ・ワークショップの運営, 役割分担について ・第5回日本公衆衛生看護学会学術集会の進行状況について
7	1月21日(土)	仙台国際センター	【第4回委員会】 ・ワークショップの最終打合せ
8	1月22日(日)	仙台国際センター	【ワークショップの実施・運営】 ・第5回日本公衆衛生看護学会学術集会にて, 全国保健師長会特別企画(第2回)「地域に責任を持つ保健師活動～業務担当制, 地区担当制それぞれの取組から～」をテーマにワークショップを実施・運営。151人が参加。
9	1月22日(日)	仙台国際センター	【第5回委員会開催】 ・ワークショップのまとめ

・上記のほか、随時メール等での協議を実施

### 4. 結果・課題

- ・平成27年度に引き続き、「第5回日本公衆衛生看護学会学術集会」でワークショップを実施することとし、テーマを「地域に責任を持つ保健師活動～業務担当制, 地区担当制それぞれの取組から～」をテーマにワークショップを実施・運営。151人が参加。

組～」として実施した。151人の参加があり関心の高さが窺えた。

- ・ワークショップでは、政令市、市町村からの地区担当制にチャレンジしている活動報告を通して、地区担当制に取り組む時のとまどいや地区担当制を推進するために必要なこと等共有ができた。
- ・地区に責任を持つ保健師活動のあり方については継続して取り組み、全国保健師長会として発信していく必要がある。

## 5. 委員会活動の特徴

- ・委員任期は2年だが、日本公衆衛生看護学会学術集会の開催地及び次年度開催地から委員が選出されるため、同メンバーでの委員会活動は1年という特徴がある。

## 6. 委員

○遠藤	三恵	宮城県仙台保健福祉事務所
伊藤	榮千子	仙台市泉区保健福祉センター
鈴木	智子	宮城県蔵王町保健福祉課
中	由美	大阪府健康医療部保健医療室医療対策課
有馬	和代	大阪市東住吉区保健福祉センター